

試験結果報告書

温熱効果試験

令和3年4月21日

株式会社 ピーアンドアール 殿

遠赤外線応用研究会

ご依頼頂きました表題の件につきましてご報告申し上げます

記

報告書 No.221T- 770

本件についてのお問い合わせは、下記にご連絡下さい。

〒542-0081
大阪市中央区南船場4-9-11 3F

遠赤外線応用研究会
TEL 06-6251-7619

シートの温熱効果試験

No. 221T- 770

令和3年4月21日

株式会社 ピーアンドアール 殿



遠赤外線応用研究会

〒542-0081 大阪市中央区南船場4-9-11

供試の試料を使用した場合の皮膚表面の温熱効果を確認する為、使用前後の測定部の時間経過による温度変化をサーモグラフィーにより測定した。

試料 CM-AFS (クレイミネラルアクティヴファイバーシート)

測定条件 1. 測定環境 室温20℃ 湿度67%
2. 測定機器 (株)アイ・アール・システム製 MobIR型

測定

健常な男性 (51才) を被験者とし、まず、20分間にわたり生体を環境温度に慣らした後、使用前の皮膚表面温度をサーモグラフィーにより測定した。次いで、CM-AFS (クレイミネラルアクティヴファイバーシート) を背中に敷いて使用し、30分後の皮膚表面温度をサーモグラフィーにより測定した。

これらの結果を熱画像としてデータ資料に示す。

結果及び考察

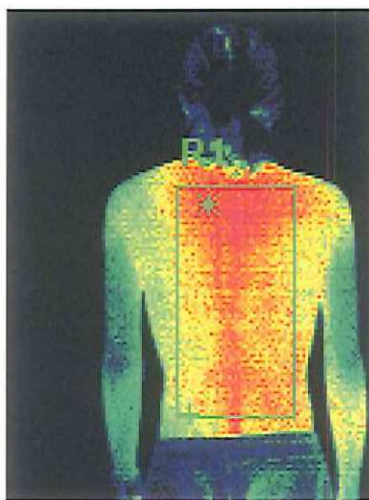
温度分布画像より求めた皮膚表面温度を下表に示す。

CM-AFS (クレイミネラルアクティヴファイバーシート) を使用した場合、使用30分で平均温度は0.3℃上昇した。このことから、CM-AFS (クレイミネラルアクティヴファイバーシート) の使用は温熱特性に優れているといえる。

CM-AFS使用による温度上昇(℃)

経過		CM-AFS (クレイミネラル アクティヴファイバー シート)
使用前	平均温度	34.2
	最高温度	35.3
	最低温度	31.8
使用30分後	平均温度	34.5
	最高温度	35.7
	最低温度	32.1

CM-AFS (クレイミネラルアクティヴファイバーシート)
使用前

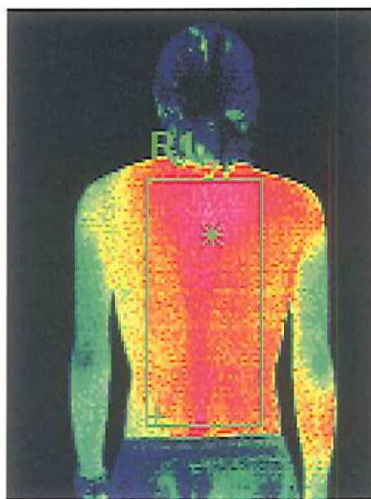


枠付画像

平均温度	34.2
最高温度	35.3
最低温度	31.8

(単位:°C)

CM-AFS (クレイミネラルアクティヴファイバーシート)
使用30分後



枠付画像

平均温度	34.5
最高温度	35.7
最低温度	32.1

(単位:°C)